

2022年05月30日

R&I格付アウトLOOK——大手銀行

1. 決算状況と事業環境

多くの大手銀行が2021年度決算で増益となった。市場部門は債券売却損の計上で大幅減益となった一方、顧客部門が底堅く推移した。国内外の資金需要を取り込み法人融資や投資銀行業務が堅調だったほか、コンシューマーファイナンスなど個人分野も回復基調にある。ロシア関連や一部大口先のランクダウンで信用コストが上振れた影響を吸収し、いずれも最終利益は通期計画を上回って着地した。

金利上昇に伴って外国債券を中心に評価損が膨らみ、有価証券含み益は大きく減少した。R&Iは含み益をバッファーから除いているためリスク耐久力の評価に響かないが、市場部門は減益が見込まれる。金融資本市場の変動性が高まっており、ポートフォリオを機動的に入れ替えるなど、リスクコントロールの巧拙が今期決算を左右しそうだ。

世界経済はコロナ問題から脱しつつあるが、先行きは不透明感が強い。長引く供給制約や原材料価格の高騰が懸念される中、ロシアによるウクライナ侵攻と経済制裁の影響で経済回復が遅れる可能性がある。大手銀行が注力するアジア新興国では中国経済の減速も響く。不透明な事業環境下で収益基盤を拡充できるかが問われる局面になる。

2. 格付上の注目点

大手銀行のリスク耐久力は安定している。コロナ影響は小さく抑えられ、信用リスクや市場リスクが多少振幅してもバッファーで十分吸収できる見通しだ。リスクアペタイト・フレームワークによる管理を進めてきた成果が上がっている。大手銀行の多くが目標とする資本水準まで改善しているため、内部留保の蓄積ペースは緩やかになるが、リスク耐久力の安定性は高まる方向にある。

金利上昇局面での海外ビジネスの収益性に注目する。これまで預貸ギャップを踏まえ調達コストを削減してきたことが寄与して現状の収益性は悪くない。中長期調達や粘着性の高い外貨預金があるとはいえ、短期的には調達コストの増加が見込まれる。市場金利の動向に合わせて海外貸出金利回りを引き上げ、比較的良好なスプレッドを維持・向上できるか見守っていく。

低金利環境の継続で国内銀行業務の収益性は長らく停滞している。コロナ下の制度融資による効果で貸出金利回りが下げ止まったことに加え、店舗・人員体制の見直しなどで抜本的な経費削減が進んでいる。国内銀行業務の損益分岐点を引き下げることができれば、信用力向上に大きく前進するとみている。

3. 個別企業の動向と信用力の方向性

三菱UFJフィナンシャル・グループ（証券コード:8306、発行体格付=A+）は米MUFJ Union Bankを年後半に売却する予定。戦略的に事業を入れ替えており、収益力強化の道筋を注目していく。三井住友フィナンシャルグループ（8316、A+）はコロナ影響を受けた航空機リースや個人分野が復調しつつある。SMBC日興事案による直接的な影響は小さいが、銀証連携ビジネスやグループガバナンスを再点検する。みずほフィナンシャルグループ（8411、A+）は業務改善命令を受け経営陣が交代したものの、構造改革の進捗は順調だ。資本を活用する段階にシフトしており、インオーガニック戦略を確認する。

三井住友トラスト・ホールディングス（8309、A/ポジティブ）は政策保有株式を削減し、リスクプロフィールの改善が続けば格上げを検討する。りそなホールディングス（8308、A/ポジティブ）は外国債券を中心に売却損を計上したため最終利益は減益となったが、グループ一体運営が進み、収益力は底上げされている。利益蓄積を進めてリスク耐久力が改善できるか注目していく。

チーフアナリスト：大内 祥子

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。